

富田寺内町は、寺内町として発展し、多くの社寺や町家の風情が漂うまちなみが広がっています。江戸時代には、酒造りの町として栄えました。



江戸時代の絵図

かつての富田のまちなみは、駅の南方にある筒井池を中心に広がっていました。この筒井池、別名「紅屋池」と呼ばれ、江戸時代に富田を代表する造り酒屋であった豪商「紅屋」の裏にあったことに由来しているともいいます。現在、その大半は埋め立てられてしまいましたが、もとは本照寺のすぐそばまで広がっており、池に映る美しい寺の姿を見ることができました。



入選作品



高槻市景観賞について...

高槻市景観賞は、市内の様々な景観資源やそれらを守り育む活動の表彰を通じ、市民をはじめ、より多くのみなさんの景観に対する意識が高まるとともに、高槻への愛着や関心がさらに深まることを願い、平成29年度に創設いたしました。

第1回高槻市景観賞の建造物部門では、27の入選作品、さらには、その中から8つの受賞作品が選ばれました。入選作品の情報は市のホームページで紹介していますので、こちらの2次元コードからアクセスしてご覧ください。



「たかつき景観まち歩き MAP」では特徴的なまちをご紹介します

第1回高槻市景観賞の建造物部門で、受賞または入選された作品がたくさん集まった、芥川宿・高槻城下町・富田寺内町の3つのまちを紹介しています。

「高槻ええとこクイズラリー」で出題したクイズもご紹介

「高槻ええとこクイズラリー」は、クイズへの挑戦を通じて市内の「ええとこ」を巡る取組で、平成28年度までの8回にわたって実施しました。

「たかつき景観まち歩き MAP」では、過去に出題したクイズの題材となった場所を掲載しています。クイズと解答は市のホームページで紹介していますので、こちらの2次元コードからアクセスしてご覧ください。



おいしい飲食店やこだわりの小売店もご紹介

高槻市は、まちの賑わいにつながる魅力的なお店の出店をサポートする制度「高槻「魅力あるお店」応援プロジェクト」を実施しており、この制度を活用して市内に新規出店したお店を紹介しています。

「たかつき景観まち歩き MAP」に掲載していますお店の情報は、市のホームページで紹介していますので、こちらの2次元コードからアクセスしてご覧ください。



第1回高槻市景観賞

受賞作品



1 石河診療所 2 十月桜の家 3 原公民館

地図① A-2 清鶴酒造 地図① B-3 本照寺 地図① B-3

第1回高槻市景観賞

受賞作品



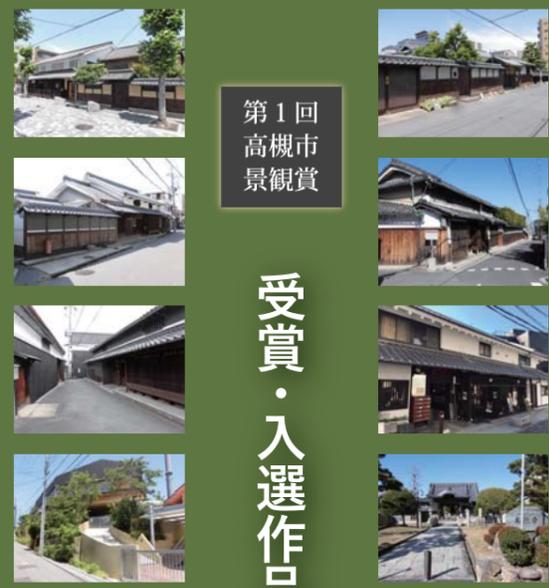
5 日吉幼稚園



凡例
 ● 第1回高槻市景観賞【建造物部門】の受賞作品
 ○ 第1回高槻市景観賞【建造物部門】の入選作品

第1回高槻市景観賞

受賞・入選作品と巡る



芥川宿 かつて、京都と西宮を結ぶ西国街道の宿場町として栄えた芥川宿。現在は、近代的な市街地の背後に、情緒と趣あるまちなみが静かに時代の流れを見守っています。

■芥川宿絵図 享保19年(1734)に描かれた芥川宿絵図では、茅葺き屋根の建物が建ち並ぶまちなみや今も残る教宗寺、芥川一里塚も描かれ、最盛期には旅籠屋が33軒、家屋も253軒を数えたといわれています。



芥川宿絵図

■芥川一里塚

一里塚とは、主要な街道の一里(約4km)毎に塚を築いてエノキ(芥川宿はなぜ今はムクノキ)を植え、道のりの目印としたものです。

第1回高槻市景観賞

受賞作品



久保家住宅 地図② D-2



芥川一里塚

たかつき景観 まち歩き MAP 芥川宿・高槻城下町・富田寺内町編

高槻城下町 戦国時代、動乱の舞台となった城跡エリア。江戸時代には高槻の城下町として賑わいを見せています。今も住時の面影を色濃く残しています。



樹形門の石垣石



城北町のまちなみ

商工会議所の南側に、高槻城廓郭の樹形門跡から出土した石垣石がありますが、このほかにも、破却された高槻城の石垣石が、市内のいろいろなところで使われているのはご存知ですか？ 高槻城の石垣は、国有鉄道(現JR)開通のため、明治7年に破却され、橋台やトンネルに利用されており、あまり知られていませんが、上宮天満宮でも目にすることができます。

第1回高槻市景観賞

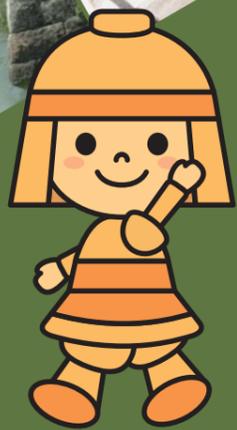
受賞作品



横山家住宅 地図② E-3 郡家住宅 地図② E-3 シェアアトリエ福寿舎 地図② E-3

受賞作品の詳細について...

受賞作品を訪問いただいた際、写真のような銘板が掲げられている場合は、2次元コードから作品の情報を現地ですることができます。なお、作品の詳細情報は市のホームページでも紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。



高槻市マスコットキャラクターはにたん